

令和7年度

小林地域コミュニティ懇談会

◆開催日時：令和7年10月25日（土） 15:00～17:00

◆開催会場：小林地域生活センター 2F 研修室



<質疑概要>

公共施設のこれからを考えるについて

発言： 白根第一地域における老朽化が進む施設の改築や統廃合等、区としての考えと空調、照明等の設備の更新について教えてほしい。また、戸頭浄水場の今後について教えてほしい。

回答： 老朽化が進む施設の今後の対応については、地域の皆さまのご意見を伺いながら、質において良いもの、量において最適な量、経費においても改善を図りながら将来世代に継承していきたいと考えています。空調設備等については、これまでと同様に劣化状況を確認しながら予算の範囲内で修繕をしていきます。

戸頭浄水場については、今後40年程度、設備更新などを行いながら使用していく予定です。

発言： 以前、戸頭浄水場は月潟の方へ移動することになっていたと思うが、それは無くなったのか。

回答： 将来的には全面更新のタイミングで西蒲区の巻浄水場との統合を予定していると聞いています。

人口減少対策について

発言： 今後も人口減少が進むことから、子育て支援の充実、教育環境、労働環境の改善が必要と考えるが、区としてどのような対策をされているか。

回答： 基本的には区単独というより市全体で取り組むものだと思っています。

子育て環境については、全市では「こども医療費助成」や「妊産婦医療費助成」の拡充などの取り組みを行っています。区では、子育て広場や移動児童館を実施しています。

教育環境については、全市では特別教室へのエアコンの設置、不登校対策のスペシャルサポートルームの設置やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置を充実させています。区では、未来創造教室の取り組みで各学校に支援を行っています。

産業環境については、各区に工業団地を整備し、南区では北部地区の5区画全てが活用され雇用の創出につながりました。その他、区内の果樹農家への支援や農産物のPRに取り組んでいます。

発言： こどもが白根商店街のバス停まで行くには遠すぎる。

回答： 今年度、本庁の都市交通政策課とともに区全体の公共交通の効率化・集約化などの検討を始めたところです。朝晩の通勤通学には定時定路線を維持し、日中はAIを活用して必要な時に必要な路線を運行するといったイメージになります。今後、各コミ協との意見交換を行いますが、小林地区は12月7日に予定されていますので、地域の現状をお聞かせいただければと思います。

発言： 企業や私立高校を誘致できないのか。

回答： 企業誘致については、市全体で取り組んでおり、特に東京事務所が首都圏の企業に売り込みを行っています。私立高校誘致については、一つの案としてお聞きしましたので、機会があれば教育分野の関係者にPRしていきたいと思っています。

発言： 空き家活用PRやベビーシッター支援など、人口減少対策で区独自での取り組みは考えているのか。

回答： 区独自で空き家を活用した移住・定住の取り組みは行っていません。ベビーシッターへの支援は全市的に考えていくものだと思いますので、ご意見は本庁の担当部署に伝えます。

害獣対策について

発言： 近年頻発するクマやイノシシなどが人間の生活圏内に侵入しており、人的被害など懸念している。万が一の場合に備えた予防的な対策と今後の安全確保を目的とした対策をお願いしたい。

回答： 有事の際は、各マニュアルに基づき関係部署と連携し、速やかに現地パトロールや防災メールでの情報発信、関係機関への情報提供、猟友会との捕獲の協議などを行います。なお、コミ協へ情報提供があった際は、各自治会への注意喚起をお願いします。

柏崎原発の再稼働について

発言： 現在、柏崎原発6号機の再稼働が議論されている。区ではどのような対策を考えているか。

また、再稼働すると区にとって何かメリットはあるのか。

回答： 区単独ではなく市全体で対応を考えて行かなければならないと思っています。県が公表した被ばく線量シミュレーションでは、新潟市に基準を超える放射性物質が飛散する可能性は低いと考えられますが、万が一飛散があった場合には国や県からの指示に基づき、屋内退避や避難をすることになります。なお、県の広域避難計画では、新潟市は発電所付近の住民を受け入れるという役割になっています。

また、新潟市は立地自治体ではないので、再稼働に対するメリットは申し上げにくいです。

発言： 柏崎原発で事故があった時、避難行動の必要はないのか。

回答： 県のシミュレーションでは、すぐに避難が必要とはなっていません。

移動支援について

発言： 移動支援は他所の地域に先駆けて実施してきた実績がある。小林をモデル地区にして、新しい施策を考えていただきたい。

回答： 現在検討しているAIデマンドがどこまで対応できるのか見えていませんが、最終的には移動支援を地域の方から行っていただく可能性はなくはないと思います。公共交通の今の動きの中で併せて検討している状況です。

中ノ口川の改修について

発言： 中ノ口川の改修は県の仕事だと思うが、区に相談に行ってもよいのか。

回答： 直接県に連絡してもよいですし、区から連絡することもできます。

小林小学校・中学校の除雪について

発言： 小林小学校と中学校は避難所になっている。土日曜日は除雪されないので、災害が起きた場合は除雪はされていない状態である。検討の余地はあるのか。

回答： 児童・生徒の登校に合わせての除雪になるので、土日曜日は行いません。

発言： 災害はどうでもいいということか。

回答： 土日曜日も含めて小中学校の除雪を毎日行うのは、現実的に難しいです。基本的には徒歩避難になりますので、駐車場の除雪には応えられないのが現状です。

防犯について

発言： 駐在所が統合されて交番になってから巡回が減っている印象がある。パトロールを強化してもらいたい。

回答： 警察に確認したところ、二つの駐在所を統合して一つの交番になったが、見回りの回数は増えて夜間体制も強化しているとのこと。区も警察と一緒に防犯啓発活動など、地域の安心・安全に向けた取り組みを進めていきます。

発言： 先日、防犯灯設置補助の申請をしたが、審査に時間がかかると言われた。

回答： 予算の残額を見つっだと思いますが、早めに処理するようにします。

地域の高齢化について

発言： 地域の高齢化によって、耕作放棄地の増加による環境への悪化、老々介護による負担増加、交通手段の問題などが出ているが、区としての対策は考えているのか。

回答： 耕作放棄地については、農業委員会がパトロールをして適切に管理するよう指導しています。老々介護については、全国的な課題だと思っておりますが、ご自身だけで抱え込むことなく民生委員や健康福祉課、地域包括支援センターにご相談いただき、使えるサービスをしっかり利用して負担軽減に繋げていただければと思います。交通手段については、先ほど説明したとおり、現在公共交通の再編等について検討しているところです。

公園について

発言： 公園で火を使うと駄目なのか。

回答： 基本的に火を使うことは禁止しています。ただ、町内でバーベキューをしたいということであれば事前にご相談いただければと思います。

発言： こどもから大人まで地域が集える大きな公園を小林地区に作ってほしい。

回答： ご要望として承ります。